

平成30年度劇場・音楽堂等機能強化推進事業
(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)

成果報告書

団 体 名	久慈市	
施 設 名	久慈市文化会館（アンバーホール）	
助成対象活動名	公演事業	
内定額（総額）	5,601	（千円）
公演事業	5,601	（千円）
人材養成事業		（千円）
普及啓発事業		（千円）

(2) 平成30年度実施事業一覧

【公演事業】					
番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	音楽の贈り物vol.4シュトゥットガルト室内管弦楽団withワルター・アウアー	2018年10月11日	演目：芥川也寸志/弦楽のための三楽章 ほか 出演者：シュトゥットガルト室内管弦楽団、ワルター・アウアー、永峰高志	目標値	500
		大ホール		実績値	300
2	アーティスト紹介コンサート オペラ「魔笛」	2018年6月2日	演目：オペラ「魔笛」二幕 出演者：リベルカントメンバー 指揮/織部玲児、演出・パパゲーノ/田村洋貴ほか	目標値	600
		大ホール		実績値	343
3	音楽の絵本～ブリランテ	2019年3月2日	演目：石川亮太/さくら幻想曲、スカルラッティ/三つの小品より ほか 出演者：ズーラシアンズプラス（金管五重奏）ほか	目標値	800
		大ホール		実績値	500
4	DRUM TAO RHYTHMofTRIBE 時空旅行記	2019年3月21日	演目：日本の伝統芸能（和太鼓）をさらに進化したエンターテイメントとして表現 出演者：DRUM TAO メンバー	目標値	800
		大ホール		実績値	1,122
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
平成30年度の目標値、実績値				目標値	2,700
				実績値	2,265

【妥当性】

自己評価

社会的役割（ミッション）や地域の特性等に基づき、事業が適切に組み立てられ、当初の予定通りに事業が進められていたか。

久慈市社会教育行政中期計画に基づき、多くの市民が芸術文化に親しめる環境の整備を図りながら、利用者の増加に努めている。

岩手県北に位置し、久慈広域圏の芸術文化の拠点、シンボルとして、また、1999年の開館当初から岩手県内で初めて芸術監督を置いた会館として、優れた芸術文化の鑑賞の機会を提供する役割を担っている。

芸術監督兼館長の永峰高志氏は現在、国立音楽大学教授を務めており、久慈市文化会館の開館前のイベントに出演いただくなど、長年の交流を経て、平成22年から当職に就任いただいている。

久慈市の音楽環境を20年以上支えてきた永峰芸術監督監修事業として、自身の経験と人脈を生かした『音楽の贈り物vol.4シュトゥットガルト室内管弦楽団withワルター・アウアー』公演を開催し、その人脈を生かし招聘した世界レベルの音楽家が、器楽演奏の指導をの演奏に、地域住民が触れ、クラシックが身近な存在となるよう取組んだ。

県庁所在地盛岡まで2時間以上、東京へも4時間以上かかることから多様なジャンルの公演を当会館で実施することにより、多くの方にアンバーホールを利用していただき、岩手県北を代表するホールとしての役割が果たすため、『アーティスト紹介コンサート オペラ「魔笛」』『音楽の絵本～プリランテ』

『DRUM TAO RHYTHMofTRIBE時空旅行記』といったジャンルや鑑賞対象を広げる公演を実施した。

すべての公演において、当初の計画から日程及び主要な出演者に変更はなかったが、『DRUM TAO RHYTHMofTRIBE時空旅行記』以外の公演で入場者数が伸び悩み、目標2,700人に対し、実績が2,265人（83.9%）にとどまった。

予算の執行について予算額17,338,000円に対し決算額16,696,456円（-3.7%）となり、予算の適正管理に努めた。

助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。

久慈市の地理的条件により、都市部との文化格差が生じざるを得ないなか、久慈市文化会館は芸術監督を置き、より質の高い音楽を鑑賞する機会を提供してきた。

久慈市の歳出予算20,576,000千円のうち文化会館費156,931千円（維持管理費含む）で割合が0.76%、盛岡市の歳出予算110,640,000千円うち文化会館関係費624,883千円で割合0.56%となっており、久慈市は文化芸術への予算措置について、自助努力をしていることを示している。

また、都市部と比較した場合鑑賞人口の少なさや、アーティストが多く在住する都市部から離れているため、移動等にかかる経費の割増し負担などが生じ、助成を受けることで、都市部との格差を埋めることができた。

助成により、多様な舞台公演を開催し、久慈市はもとより管内の住民が舞台芸術に触れる機会を提供することができ、生きがいのある文化的な暮らしの一助となった。

【有効性】

自己評価

目標を達成したか。

指標

○終演後のアンケート回収率平均55%以上

平成30年度公演のアンケート回収率について平均55%となるよう、終演後のアンケート回収を呼び掛けた。

回収率

『音楽の贈り物vol.4シュトゥットガルト室内管弦楽団withワルター・アウアー』55%

『アーティスト紹介コンサート オペラ「魔笛」』62%

『音楽の絵本～ブリランテ』41%

『DRUM TAO RHYTHM of TRIBE時空旅行記』20%

となった。

アンケートは幕間の休憩に記載する方が多く、休憩なしであった『DRUM TAO RHYTHM of TRIBE時空旅行記』は満席であったため駐車場の渋滞を嫌った方が帰路を急ぐなど、アンケートを回収する条件が著しく悪かった。

また、『音楽の絵本～ブリランテ』は対象が「0歳から」となっており、観客にアンケートをかけない方が多く含まれたため回収率が伸び悩んだ。

アンケート回収の条件が悪い2公演を除いた2公演の回収率は58.5%で指標を達成できた。

○アンケートのうち「とてもよかった」「よかった」の割合が90%以上

満足度

『音楽の贈り物vol.4シュトゥットガルト室内管弦楽団withワルター・アウアー』88%

『アーティスト紹介コンサート オペラ「魔笛」』89%

『音楽の絵本～ブリランテ』92%

『DRUM TAO RHYTHM of TRIBE時空旅行記』91%

となった。

4公演の満足度の平均が90%となり指標を達成することができた。

○市外からの来場者30%以上となるよう周知に取り組む

『音楽の贈り物vol.4シュトゥットガルト室内管弦楽団withワルター・アウアー』37%

『アーティスト紹介コンサート オペラ「魔笛」』22%

『音楽の絵本～ブリランテ』37%

『DRUM TAO RHYTHM of TRIBE時空旅行記』33%

となった。

4公演の市外来場者の平均が32.2%となり指標を達成することができた。『DRUM TAO RHYTHM of TRIBE時空旅行記』はアンケートの回収率が低く、市外来場者が急いで帰るためにアンケートを出す時間がない事情を鑑みると、市外からの来場者の割合はもっと大きかったと考えられる。

【効率性】

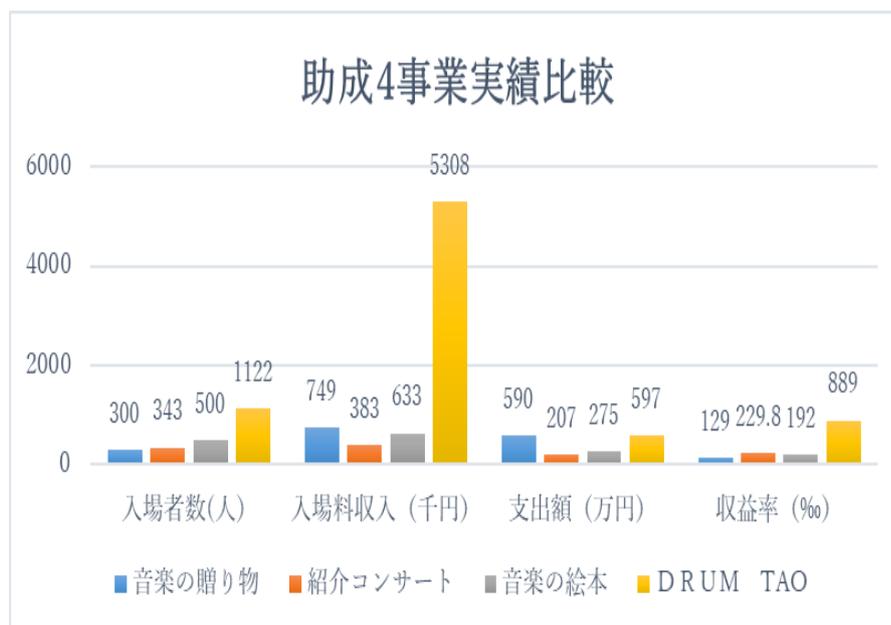
自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んだか。
 アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んだか。

すべての公演において、当初の計画から日程及び主要な出演者に変更はなかったが、『DRUM TAO RHYTHM of TRIBE 時空旅行記』以外の公演で入場者数が伸び悩み、目標2,700人に対し、実績が2,265人(83.9%)にとどまった。

予算の執行について予算額17,338,000円に対し決算額16,696,456円(−3.7%)となり、予算の適正管理に努めた。

事業ごとの比較について、下記グラフのとおりまとめた。



「音楽の贈り物」(音楽の贈り物vol.4シュトゥットガルト室内管弦楽団withワルター・アウアー)
 「紹介コンサート」(アーティスト紹介コンサートオペラ「魔笛」)
 「音楽の絵本」(音楽の絵本〜プリランテ)
 「DRUM TAO」(DRUM TAO RHYTHM of TRIBE 時空旅行記)

公演ごとの実績を比較すると、『DRUM TAO RHYTHM of TRIBE 時空旅行記』が入場者数、入場料収入、収益率が抜きんでており、教養的なクラシックに比べて、エンターテインメント性が高い公演へのニーズが高いことが明らかである。

個人的な趣味であると軽視されがちなエンタテインメント公演も市外でしか鑑賞できないと、結果的に舞台芸術をホールで鑑賞する習慣が根付かず、クラシック音楽の公演来場者が伸び悩む要因になっているのではないかと推察する。

しかしながら、クラシック音楽は教育に裏付けされた芸術の到達点であり、生の演奏に触れることで心が豊かになり、一人一人の文化的な暮らしが社会の安定につながるため、収益率のみで判断し、疎かにすることはできない。

『音楽の贈り物vol.4シュトゥットガルト室内管弦楽団withワルター・アウアー』ではコンサートに合わせて、希望者へ楽器演奏のクリニックを実施するなどの人材育成も行っており、効率性について、久慈市の諸条件から判断すれば達成できたと考える。

【創造性】

自己評価

地域の文化拠点としての機能を最大限に発揮する優れた事業であった（と認められる）か。

久慈市文化会館の大ホールは残響可変装置を備え、音の響きの良さは「残響時間」で数値化されることが多いが、アンバーホールの残響時間は世界最高の響きを求めて建てられた東京のサントリーホールと同じ「2.1秒」となっており、『音楽の贈り物vol.4シュトゥットガルト室内管弦楽団withワルター・アウアー』公演では、ウーンフィルの首席ソロ・フルート奏者の演奏の魅力を十分に引き出しクラシック音楽の魅力を伝えることができたことが、来場者アンケートの結果からうかがえる。

久慈市文化会館の客席数は1170席と岩手県北では最大の客席数を擁し、『DRUM TAO RHYTHM of TRIBE時空旅行記』は鑑賞希望者の多い公演であるが、見切れ席等を除く完売（入場者数1122人）となり、多くの鑑賞希望に応えることができた。

【創造性】

自己評価

地域の実演芸術の振興など、地域の文化芸術の発展につながっていた（と認められる）か。

『アーティスト紹介コンサート オペラ「魔笛」』には、久慈市出身の声楽家田村洋貴氏を迎え、出身校から80名の鑑賞者があるなど、地元出身の音楽家の活躍に触れた学生が自己の可能性について、夢を大きく広げる一助となり、また、地元の芸術家を応援することで、郷土愛を深めた。

『音楽の贈り物vol.4シュトゥットガルト室内管弦楽団withワルター・アウアー』にお迎えしたウィーンフィル首席ソロフルート演奏家であるワルター・アウアー氏からは、希望者へ楽器演奏のクリニックを実施していただき、世界的な音楽家から地域の楽器愛好家が演奏指導を受ける機会を得ることができた。

『音楽の絵本～プリランテ』は、0才から入場できることが魅力のコンサートとなっており、育児のため舞台芸術に触れる機会が減少しがちな世代の住民にとって、貴重な音楽鑑賞の機会となった。また、小さいうちから舞台芸術に触れることで、感性を刺激し心の豊かな人格形成が期待でき、一般の鑑賞者にとっても、少子化により子供と過ごす機会が減るなかで、音楽を共に楽しむことで、社会の多様性と将来への希望を感じる機会となり、文化芸術の効果を実感し、久慈市の芸術文化の発展につながった。

【持続性】

自己評価

事業を通じて組織活動が持続的に発展した（と認められる）か。

久慈市文化会館では、文化活動の総合拠点として様々なジャンルの公演や、個性を育むための文化体験事業の推進に力を注ぐなど、開館以来190万人を超える利用者があり、市民の文化活動を支え芸術文化の拠点としての役割を果たしている。

文化会館に芸術監督を置き、事業の企画運営について助言をいただくことにより、担当職員の異動等による影響を受けにくく、継続して国内外からトップアーティストを招聘し、質の高い公演を開催している。

文化会館での公演は芸術監督の企画した事業を「久慈市文化会館」の主催、その他の自主事業を「久慈市教育員会」の主催として、教養性が高い公演からエンタテインメント性を備えた公演まで、バランスよく実施している。

≪平成 30 年度助成金の応募実績≫ * 劇場・音楽堂等機能強化推進事業を除く			
助成事業名	募集元	応募公演（事業）名	採否
文化芸術創造拠点形成事業	文化庁	あまちゃんのまちづくり振興事業 (大友良英&あまちゃんスペシャル ビックバンドコンサート)	不採択
Hello musical project	社) 映画演 劇文化協会	キスミー・ケイト	制作会社等 (採択)
劇場・音楽堂等機能強化推進事業	文化庁	白石加代子 百物語	制作会社等 (採択)
地域住民のためのコンサート	三井住友海 上文化財団	ドラマティックサクソフォンステ ージ他 2 事業をカタログから選択	不採択
宝くじ文化公演事業	自治総合セ ンター	ふるさとワクワク劇場	不採択

上記のとおり、多様な文化芸術の公演を開催すべく、助成金の交付申請等による資金調達に努め、他館とのネットワークにより、公演のツアーに組み入れていただくなど、公演実施にかかる経費等効率化を図っている。

アンバーホール友の会は舞台芸術の愛好者にタイムリーな情報提供を映画会等、自主事業ではサポートできない公演をサポートしており、舞台公演の愛好者による互助組織を超えて、地域の多様なニーズに応える一助となっている。